１－１　長崎県における主な被害地震

長崎県における主な被害地震

西　　暦	地域名	地震規模(M)	被害中心地	被害の概要
1657.1.3	長崎		長崎	家屋一部損壊
1700.4.15	壱岐・対馬	7.0	壱岐・対馬	石垣・墓石・家屋倒壊
1707.10.28		8.6	長崎・平戸	長崎で蔵に浸水
1725.11.8-9	肥前・長崎	6.0	平戸・長崎	諸所破損多し
1730.3.12	対馬		対馬	諸所破損多し
1791.12.5	雲仙岳		小浜	家屋倒壊・死者2人
1792.4.21-22	雲仙岳 (三月朔地震)		島原・小浜・ 森山	石垣崩壊・地割れ・家屋損壊
1792.4.25	雲仙岳		森山	石垣崩壊・地割れ・家屋損壊
1792.5.21	雲仙岳 (島原大変)	6.4	島原	石垣崩壊･眉山大崩壊･ 大津波･死者1.5万人
1808.8.2			五島	石垣・石塔崩壊
1828.5.26	長崎	6.0	天草・長崎・ 五島	出島周辺崩壊数箇所 石仏転倒
1866.5.14			千々石	各所の損壊
1915.7.20-21	喜々津地震群		喜々津村 井樋の尾岳	石垣一部崩壊
1922.12.8	千々石湾 (島原地震)	6.9 (01時49分)	北有馬	家屋倒壊・死者23人 煙突倒壊、水道管破裂
		6.5 (11時02分)	小浜	家屋倒壊・死者3人
1951.2.15	島原半島地方	5.3	千々石	地割れ
1984.8.6	島原半島地方	5.7 (17時30分)	小浜・千々石	家屋一部損壊･石垣墓石倒壊
		5.0 (17時38分)		
2005.3.20	福岡県西方沖	7.0	壱岐	負傷者2人、住宅全壊1棟、 住家一部破損16棟ほか
2016.4.14	熊本県熊本地方	7.3 (01時25分)	南島原・島原・雲仙 ・諫早	中心地は熊本地方 島原市（震度５弱）

（資料：「新編日本被害地震総覧」（宇佐美龍夫、1996年）及び気象庁資料）

１－２　雲仙岳火山活動（平成２年 11 月～平成８年７月）

雲仙岳火山活動（平成２年 11 月～平成８年７月）

年月日	火山活動等の状況
平成2.11.17	九十九島火口、地獄跡火口から噴火、島原市災害対策本部設置（12月15日警戒本部に切替）
平成3.1.15	震度3を含む群発地震が発生
平成3.2.12	屏風岩火口から大量の火山灰を伴って噴火
平成3.3.29	九十九島、地獄跡、屏風岩の三火口から同時に噴火、以降噴火の間隔が短くなる
平成3.5.15	水無川で土石流発生　島原市災害対策本部設置、北上木場・南上木場町の全部、白谷町・天神元町・札の元町各一部に避難勧告の発令（95世帯、416人）、その後、避難勧告解除、島原市災害対策本部を警戒本部に体制を移行
平成3.5.18	島原市災害対策本部設置
平成3.5.19	避難勧告の発令（水無川流域10町内780世帯、3,043人）、 連続雨量57㎜、土石流発生
平成3.5.20	地獄跡火口に溶岩塊（溶岩ドーム）出現（直径40～50ｍ、高さ30ｍ）、避難勧告の解除
平成3.5.21	避難勧告の発令（5町内252世帯、1,094人）、その後避難勧告の解除
平成3.5.24	地獄跡火口東側斜面から溶岩塊が標高700ｍ地点まで落下、火砕流が発生、避難勧告の発令（10町内780世帯、3,043人）
平成3.5.25	避難勧告の解除
平成3.5.26	頻繁に火砕流が発生し、先端は北上木場の人家付近まで到達（負傷者1名）、避難勧告の発令（北上木場・南上木場・白谷町・天神元町・札の元町の5町内252世帯、1,949人）、その後に範囲拡大に伴う避難勧告の発令（北安徳町・鎌田町・中安徳町・南安徳町・浜の町の5町内780世帯、3,043人）
平成3.5.27	一部の避難勧告を解除
平成3.5.29	島原市・深江町に災害救助法適用
平成3.6.1	避難勧告の解除
平成3.6.3	大規模火砕流が発生し、先端は筒野バス停付近まで到達（死者及び行方不明者43名、負傷者9名、建物損壊179戸）、知事に陸上自衛隊第16普通科連隊に対する災害派遣を要請
平成3.6.7	警戒区域の設定（南上木場・北上木場・白谷町・天神元町・札の元町の国道57号から以西、門内町・大下町・仁田町のそれぞれ一部：356世帯、1,515人：6月27日まで）
平成3.6.8	大規模火砕流が発生し、先端は札の元橋付近まで到達（建物損壊207戸）警戒区域の追加設定（門内町・大下町・仁田町のそれぞれ残り全部、梅園町・北安徳町・鎌田町・中安徳町・浜の町のそれぞれ全部、南崩山町・船泊町・秩父が浦町のそれぞれ一部：6月27日まで）
平成3.6.11	噴火による噴石のため被害発生、島原市北部で火山礫（火口北東3㎞中心、最大7㎞）
平成3.6.12	島原市内で火山礫を確認（建物一部損壊11戸）

年月日	火山活動等の状況
平成3.6.30	土石流と思われる震動波形を観測、湯江川・赤松谷川・土黒川のワイヤーセンサーが切断、水無川の土石流は北安徳町、鎌田町を通過して海岸まで流下（建物損壊151戸、国道251号は7月6日まで通行不可）
平成4.1. 7	第5ドームが普賢岳山頂（1,359m）を超えたことが観測（1,370m）
平成4.1.15	水無川流域で土石流が発生し、国道251号、島原鉄道が被災
平成4.3.1	水無川の土石流は有明海の海岸近くまで達し、国道251号、島原鉄道が被災
平成4.3.15	水無川で土石流発生
平成4.3.24	1日586回の火山性地震観測
平成4.6.23	水無川で土石流発生、国道251号緊急連絡橋へ初めて切替
平成4.6.24～25	熱風が中ノ間川上流の沢（岩床の沢）に入り始め、警戒区域追加設定
平成4.8.8、12～13、15	水無川で土石流発生、大規模火砕流発生
平成4.9.11	1日632回の火山性地震観測
平成5.4.28～5.2	水無川・中尾川で土石流発生、過去最大の被害発生
平成5.5.21	中尾川方向へ規模の大きな火砕流流下
平成5.5.24	島原市において約1年8ヶ月ぶり警戒区域拡大
平成5.6.12～19	水無川・中尾川で土石流発生、被害拡大
平成5.6.21	水無川方向2.4合目までの規模の大きな火砕流発生
平成5.6.22～23	水無川で土石流発生、被害拡大
平成5.6.23	中尾川方向に約4㎞流下し、先端は県道愛野島原線に達する大規模火砕流発生（人的被害（死者1名）、物的被害（住家損壊71戸、非住家損壊76戸、合計147戸））
平成5.6.26	水無川方向へ規模の大きな火砕流流下
平成5.7.4	中尾川で土石流発生
平成5.7.19	水無川方向へ規模の大きな火砕流流下
平成5.8.19～20	眉山六渓からの土石流が市道高島丁椿原線を流れ下り、萩が丘・萩原・青葉町一帯に多大な被害が発生（物的被害（住家損壊176戸、非住家損壊58戸、合計234戸））
平成6.2.6	湯江川方向へ火砕流発生
平成6.8.25	火砕流発生回数最多68回/日
平成8.2.10	火砕流1年ぶりに発生
平成8.5.20	溶岩ドームを平成新山と命名
平成8.6.3	島原市災害対策本部を島原市災害警戒本部に体制移行
平成8.7.31	島原市災害警戒本部を解散し、通常体制へ体制移行

（資料：島原市資料、「島原半島要覧」長崎県）

1－３　島原市の火災発生状況

年　次		出火件数					爆発	焼損面積	
		合計	建物	林野	車両	その他		建物	林野
								(m^2)	(a)
平成 27 年	島原市（有明町を除く）	9	7		1	1	0	13	0
	有明町	6	6				0	1812	0
平成 28 年	島原市（有明町を除く）	8	2	1		5	1	0	0
	有明町	3	2			1	0	101	0
平成 29 年	島原市（有明町を除く）	11	6			5	0	536	0
	有明町	1	1				0	0	0
平成 30 年	島原市（有明町を除く）	11	4			7	0	590	0
	有明町	8	4	1		3	0	673	3
令和　元年	島原市（有明町を除く）	4	3			1	0	324	0
	有明町	7	2	2		3	0	353	3
令和　２年	島原市（有明町を除く）	8	5		1	2	0	50	0
	有明町	3	1			2	0	162	0
令和　３年	島原市（有明町を除く）	6	3		1	2	0	48	0
	有明町	7	5			2	0	370	0

（資料：消防年報（H27～R3）島原地域広域市町村圏組合消防本部）

１－４　重要水防箇所（河川・海岸）

(1) 重要水防箇所【県知事管理区間】(河川)

区分		管内	島原
河川法上の河川	一級河川（直轄）	箇所数	0
		延長(m)	0
	一級河川（県管理）	箇所数	8
		延長(m)	36,792
	二級河川	箇所数	57
		延長(m)	270,984
	準用河川	箇所数	8
		延長(m)	28,640
	小計	箇所数	73
		延長(m)	336,416
河川法の適用を受けない河川		箇所数	22
		延長(m)	46,817
総計		箇所数	95
		延長(m)	383,233

（長崎県地域防災計画　基本計画編　令和３年６月修正による）

(2) 重要水防箇所【県知事管理区間】(海岸)

区分		管内	島原
海岸保全区域	国土交通省河川局所管	箇所数	29
		延長(m)	30,736
	国土交通省港湾局所管	箇所数	15
		延長(m)	18,663
	水産庁所管	箇所数	7
		延長(m)	5,169
	農村振興局所管	箇所数	6
		延長(m)	8,055
	小計	箇所数	57
		延長(m)	62,623
海岸保全区域以外の海岸		箇所数	0
		延長(m)	0
総計		箇所数	57
		延長(m)	62,623

（長崎県地域防災計画　基本計画編　令和３年６月修正による

１－５　災害発生危険区域

(1) 災害発生危険区域総括表（管理区分別）

令和３年４月現在

種別／管理区分／市名	河川		海岸		砂防		急傾斜		溜池	林務		計		
	県	市	県	市	県	市	県	市	市	県	市	県	市	合計
旧島原市	8		8	1	12		16	1	1	11		55	3	58
有明町	3		4		2		5	6	4	2	4	16	14	30
島原市計	11		12	1	14		21	7	5	13	4	71	17	88

（長崎県島原振興局　平成 31 年度島原半島の災害危険区域による）

(2) 災害発生危険区域総括表（危険度別）

令和３年４月現在

種別／管理区分／市名	河川			海岸			砂防			急傾斜		溜池		林務			計			
	A	B	C	A	B	C	A	B	C	B	C	B	C	A	B	C	A	B	C	合計
旧島原市	1	3	4	1	1	7	2	6	4	17		1		8	2	1	12	30	16	58
有明町		1	2		3	1	1	1		9	2	3	1		3	3	1	20	9	30
島原市計	1	4	6	1	4	8	3	7	4	26	2	4	1	8	5	4	13	50	25	88

「危険度」欄の区分　　A＝災害発生の可能性が極めて高い　　B＝災害発生の可能性が高い
C＝災害発生の可能性がある

（長崎県島原振興局　平成31年度島原半島の災害危険区域による）

(3) 災害危険河川区域【県知事管理区間】

令和３年４月現在

整理番号	名称	特に危険な区域		過去に発生の有無	予想される事態	対策工法	予想される被害	危険度	管理区分	備考
		区域	延長(m)							
1	水無川	国道57号～浜大橋	右岸　600 左岸　2,100	H3 H5	溢水	積土俵	A50　C4 D500　F30	C	県	H8完了 右岸の一部は南島原市
2	鮎川	大下町～船泊町 新湊2丁目～秩父ヶ浦町	右岸　1,362 左岸　1,362	S32	土石流	積土俵	A50　C12 D500　E100 H7,500	B	県	
3	新湊川	南下川尻町～海	右岸　1,960 左岸　1,960	S32	土石流	積土俵	A150　C18 D900　E100 H19,000	B	県	

整理番号	名称	特に危険な区域		過去に発生の有無	予想される事態	対策工法	予想される被害	危険度	管理区分	備考
		区域	延長(m)							
4	白水川	下川尻町～海 西八幡町～海	右岸 1,100 左岸 1,100	S32 S63	溢水 浸水	積土俵	A200 B2 D1,000 H110,000	A	県	
5	大手川	萩原2丁目～海 上新丁1丁目～海	右岸 1,048 左岸 1,048	S32 S63	溢水 浸水	積土俵	A1,000 B2 C7 D3,200 E500 F6 H110,000	C	県	H9完了
6	北川	下折橋町～海 六ッ木町～海	右岸 2,980 左岸 2,980		溢水 浸水	積土俵	A40 C9 D2,000 E300 H6,000	C	県	S58完了
7	中尾川	前浜町～海	右岸 500 左岸 500	S47 S63	溢水 決壊	積土俵	A20 B2 C4 D1,500 E500 F10 H140,000	C	県	H11完了
8	西川	出の川町～海 広高野町～海	右岸 3,610 左岸 3,610	S32	決壊 溢水	積土俵	A200 C11 D2,000 E300 F3	B	県	
9	湯江川	湯江甲～海	右岸 1,200 左岸 1,200	S32 H3	溢水 決壊	積土俵	A106 C400 D2,500 F25	B	県	H4年度より改修中
10	栗谷川	農道橋～島鉄橋	右岸 800	S55	決壊	積土俵	A1 C2 D100 F1	C	県	左岸は雲仙市
11	前川内川	中川内～湯江川	右岸 1,320 左岸 1,320		決壊 溢水	積土俵	A10 C7 D300 F0.7	C	県	

（長崎県島原振興局　令和3年度島原半島の災害危険区域による）

「予想される被害」欄の区分　A＝民家（戸）B＝公共建物（棟）C＝橋梁（箇所）D＝道路（m）E＝鉄道（m）F＝耕地（ha）G＝山林（m^3）H＝宅地（m^3）

「危険度」欄の区分　A･･･災害発生の可能性が極めて高い。B･･･災害発生の可能性が高い。
C･･･災害発生の可能性がある。

(4) 災害危険海岸区域【県知事管理区間】

令和３年４月現在

整理番号	名称	特に危険な区域		過去に発生の有無	予想される事態	対策工法	予想される被害	危険度	管理区分	備考
		区域	延長(m)							
1	安徳	安徳	1,759	S47	溢水	積土俵	A50 D250 F12	C	県	水管理・国土保全局
2	島原	三会	1,290	S34	決壊 浸水	積土俵	A1 F32	C	県	港湾局海岸
3	島原	大手浜	2,842	S34 H16	決壊 浸水	積土俵	A150 D900 F1.7	A	県	港湾局海岸
4	安徳	秩父ヶ浦	2,336		決壊 浸水	積土俵	A13 D96 F6.2 H90,000	B	県	水管理・国土保全局

整理番号	名称	特に危険な区域		過去に発生の有無	予想される事態	対策工法	予想される被害	危険度	管理区分	備考
		区域	延長（m）							
5	島原	船津	1,250	S34 H13	決壊 浸水	積土俵工	A30 D2,000 F2.0	C	県	港湾局海岸
6	三会	三会	713	S37	決壊 溢水	積土俵工	A15　D120 F0.1	C	県	水管理・ 国土保全局
7	島原	高島	702		決壊 浸水	積土嚢工	A220 B11 D900	C	県	
8	島原	外港	182		決壊 浸水	積土嚢工	F3.3	C	県	
9	大三東	半田	419		決壊 溢水	積土俵工	A38　D200 F0.1	B	県	水管理 ・国土保全局
10	大三東	大野	585		決壊 溢水	積土俵工	A53　D550 E600 F0.9	B	県	水管理 ・国土保全局
11	大三東	江崎	828		決壊 溢水	積土俵工	A20　D201 E500 F0.3 H5,000	B	県	水管理 ・国土保全局
12	大三東	金洗	361		溢水 決壊	積土嚢工	F0.3	C	県	

（長崎県島原振興局　令和3年度島原半島の災害危険区域による）

「予想される被害」欄の区分　A＝民家（戸）B＝公共建物（棟）C＝橋梁（箇所）D＝道路（m）E＝鉄道（m）F＝耕地（ha）G＝山林（m^3）H＝宅地（m^3）

「危険度」欄の区分　A･･･災害発生の可能性が極めて高い。B･･･災害発生の可能性が高い。
C･･･災害発生の可能性がある。

(5) 災害危険海岸区域【市管理区間】

令和３年４月現在

整理番号	名称	特に危険な区域		過去に発生の有無	予想される事態	対策工法	予想される被害	危険度	管理区分	備考
		区域	延長（m）							
1	枯木	枯木地区	35.8	H5	浸水	護岸工	A1　D35.8 H4,455	C	市	漁港海岸
2	三会	三会	728	H8 H13	浸水	護岸工	A93　D728	C	市	漁港海岸
3	松尾	大三東乙	296	H16	浸水	護岸工	A9　D296	C	市	漁港海岸

･･･････（長崎県島原振興局　令和3年度島原半島の災害危険区域による）

「予想される被害」欄の区分　A＝民家（戸）B＝公共建物（棟）C＝橋梁（箇所）D＝道路（m）E＝鉄道（m）F＝耕地（ha）G＝山林（m^3）H＝宅地（m^3）

「危険度」欄の区分　A･･･災害発生の可能性が極めて高い。B･･･災害発生の可能性が高い。
C･･･災害発生の可能性がある。

１－６　砂防指定地

令和３年４月現在

整理番号	名称	特に危険な区域		過去に発生の有無	予想される事態	対策工法	予想される被害	危険度	管理区分	備考
		区域	延長（m）							
1	水無川	白谷町～安徳町	3,000	H3 H5	土石流	ﾀﾞﾑ工 導流堤	A125 C5 D2,000 F80	A	（国）	導流堤H13完成 ﾀﾞﾑ群施工中
2	白谷川	白谷町	800		土石流	ﾀﾞﾑ工	A85 D500 F5	B	県	
3	仁田川	仁田町	800		土石流	ﾀﾞﾑ工	A96 D500 F5	B	県	
4	鮎川	中木場	500	S32	土石流	ﾀﾞﾑ工 流路工	A230 D240 F2.2	C	県	ﾀﾞﾑ工S39完成 嵩上げH30完成 治山ﾀﾞﾑ
5	新湊川	新山	500	S32	土石流	ﾀﾞﾑ工	A52 D200	B	県	ﾀﾞﾑ工S37完成 治山ﾀﾞﾑ
6	白水川	新山	500	S32	土石流	ﾀﾞﾑ工	A30 D300	B	県	ﾀﾞﾑ工S35完成 治山ﾀﾞﾑ
7	大手川	萩原	1,000	S63 H5	土石流	(ﾀﾞﾑ工) 流路工	A200 D500	C	県	治山ﾀﾞﾑ・流路工 H8完成
8	北川	六ッ木町～上折橋町	1,000		土石流	ﾀﾞﾑ工 流路工	A60 D480 F21	C	県	ﾀﾞﾑ工S48完成 流路工S58完成
9	中尾川	六ッ木町～前浜町	2,000	H5	土石流	ﾀﾞﾑ工 導流堤	A6 C4 D500	A	（国）	ﾀﾞﾑ工H17完成
10	中河川	江里町	800		土石流	ﾀﾞﾑ工	A24 C3 D500	B	県	治山ﾀﾞﾑ
11	西川	広高野町	2,000		土石流	ﾀﾞﾑ工	A6 C6 D500	B	県	治山ﾀﾞﾑ
12	西川支川	広高野町	2,000		土石流	ﾀﾞﾑ工	A6 C6 D500	C	県	治山ﾀﾞﾑ
13	湯江川	有明町高野	1,000	H3 H5	土石流	ﾀﾞﾑ工	A30 D500 F3	A	（国）	県砂防ﾀﾞﾑH16完成
14	下長葉山川	有明町高野	700		土石流	ﾀﾞﾑ工	A22 D560 F0.6	B	県	

（長崎県島原振興局　令和3年度島原半島の災害危険区域による）

「予想される被害」欄の区分　Ａ＝民家（戸）Ｂ＝公共建物（棟）Ｃ＝橋梁（箇所）Ｄ＝道路（m）Ｅ＝鉄道（m）
Ｆ＝耕地（ha）Ｇ＝山林（m^3）Ｈ＝宅地（m^3）

「危険度」欄の区分　Ａ･･･災害発生の可能性が極めて高い。Ｂ･･･災害発生の可能性が高い。
Ｃ･･･災害発生の可能性がある。

１－７　土石流危険渓流

令和３年４月現在

連番	渓流番号	渓流名	保全人家戸数(戸)
1	203－Ⅰ－001	赤松谷川	456
2	203－Ⅰ－002	北上木場川	
3	203－Ⅰ－003	洗出川	
4	203－Ⅰ－004	白谷川	398
5	203－Ⅰ－005	仁田川	
6	203－Ⅰ－006	鮎川	448
7	203－Ⅰ－007	新湊川	170
8	203－Ⅰ－008	白水川	
9	203－Ⅰ－009	五渓川	
10	203－Ⅰ－010	萩が丘川	1,636
11	203－Ⅰ－011	六渓川	
12	203－Ⅰ－012	北川	375
13	203－Ⅰ－013	中尾川	0
14	203－Ⅰ－014	中河川	41
15	203－Ⅰ－015	西川	37
16	203－Ⅰ－016	西川支川	
17	361－Ⅰ－001	湯江川	51
18	361－Ⅰ－002	下長葉山川	

（長崎県総合防災ポータル 長崎県電子国土総合防災 GIS による抜粋）

１－８　急傾斜地崩壊危険箇所

令和３年４月現在

整理番号	名称	特に危険な区域		過去に発生の有無	予想される事態	対策工法	予想される被害	危険度	管理区分
		区域	延長（m）						
1	西八幡(1)	西八幡町	60		崩壊	土留工	A7　H1,000	B	県
2	西八幡(2)	西八幡町	60		崩壊	土留工	A7　H1,000	B	県
3	中組	中組町	120		崩壊	土留工	A10　H1,200	B	県
4	白山(1)	白山町	210		崩壊	土留工	A24　H3,500	B	県
5	下川尻(2)	下川尻町	130		崩壊	土留工	A5　H1,500	B	県
6	湊	湊町	120		崩壊	土留工	A6　H1,200	B	県
7	新山	新山町	110		崩壊	土留工	A5　H1,200	B	県
8	下川尻(4)	下川尻町	90		崩壊	土留工	A7　H1,000	B	県
9	南下川尻	南下川尻町	60		崩壊	土留工	A8　H1,000	B	県
10	秩父ヶ浦(1)	秩父ヶ浦町	210		崩壊	土留工	A10　H3,000	B	県
11	白山(2)	白山町	180		崩壊	土留工	A6　H1,800	B	県
12	宇土	宇土町	50		崩壊	土留工	A4　H1,500	B	県
13	新山(3)	新山2丁目	70		崩壊	土留工	A8　H1,000	B	県
14	南崩山	南崩山町	190		崩壊	土留工	A6　H2,000	B	県
15	新湊	新湊1丁目	150		崩壊	土留工	A8　H2,400	B	県
16	下川尻(5)	下川尻町	40		崩壊	土留工	A1　H600	B	県
17	浦田二丁目	浦田二丁目、八幡町	70		崩壊	土留工	A14　D30　H1,300	C	市
18	菅	菅	110		崩壊	土留工	A8　G300	C	市
19	門前	門前高野	180		崩壊	土留工	D180　G500	C	市
20	川内(1)	西川内	90		崩壊	土留工	A4　D200　F3 G3,000　H2,500	B	市
21	川内(2)	東川内・下川内	160		崩壊	土留工	A2　C1　D200　F1 G2,000　H1,500	B	市
22	川内(3)	光川内	138		崩壊	土留工	A5　D50　G500	B	市
23	川内(4)	上川内	160		崩壊	土留工	A5　C2　D300　F1 G3,000　H3,500	B	市
24	城之尾	有明町釘崎名	120		崩壊	土留工	A7　H1,800	B	県
25	菅	有明町大野名	110		崩壊	土留工	A7　H1,100	B	県

整理番号	名称	特に危険な区域		過去に発生の有無	予想される事態	対策工法	予想される被害	危険度	管理区分
		区域	延長（m）						
26	払山	有明町大野名	180		崩壊	土留工	A5　H1,500	B	県
27	西河内	有明町大野名	180		崩壊	土留工	A5　H1,700	B	県
28	東小路	有明町浜口名	110		崩壊	土留工	A6　H1,100	B	県

（長崎県島原振興局　令和3年度島原半島の災害危険区域による）

「予想される被害」欄の区分　A＝民家（戸）B＝公共建物（棟）C＝橋梁（箇所）D＝道路（m）E＝鉄道（m）F＝耕地（ha）G＝山林（㎡）H＝宅地（㎡）

「危険度」欄の区分　A･･･災害発生の可能性が極めて高い。B･･･災害発生の可能性が高い。
C･･･災害発生の可能性がある。

１－９　林務危険地区（山腹崩壊）

令和３年４月現在

整理番号	名称	特に危険な区域		過去に発生の有無	予想される事態	対策工法	予想される被害	危険度		管理区分	備　　考
		区　域	延長（m）								
1	源在高野	下源在高野・竹下	200		山腹崩壊	土留工	A1　C1 D300 F1 G2,500 H600	C		市	
2	光之川内	光之川内	500		山腹崩壊	土留工	A10 C1 D200 F0.5 G2,500 H400	C		市	
3	鷹　野	鷹　野	450		山腹崩壊	土留工	A1　C1 D100 F1 G2,000 H700	C		市	
4	湯　江	湯江川上流	300		山腹崩壊	流路工 治山ﾀﾞﾑ工	A30 D500 F10	B		県	平成3年度～7年度 えん堤工実施 平成10年度 植栽工実施
5	柏　野	与一沢・下佐野	400	有	山腹崩壊	土留工	C2　D600 F5　G12	B		市	平成5年度 土留工実施

（長崎県島原振興局　令和３年度島原半島の災害危険区域による）

「予想される被害」欄の区分　Ａ＝民家（戸）Ｂ＝公共建物（棟）Ｃ＝橋梁（箇所）Ｄ＝道路（m）Ｅ＝鉄道（m）Ｆ＝耕地（ha）Ｇ＝山林（m^3）Ｈ＝宅地（m^3）

「危険度」欄の区分　Ａ･･･災害発生の可能性が極めて高い。Ｂ･･･災害発生の可能性が高い。
Ｃ･･･災害発生の可能性がある。

１－１０　林務危険地区（崩壊土砂流出）

令和３年４月現在

整理番号	名　称	特に危険な区域		過去に発生の有無	予想される事態	対策工法	予想される被害	危険度	管理区分	備　　考
		区　域	延長（m）							
1	赤松谷	赤松谷	2,000		土石流	治山ﾀﾞﾑ工	A320　B2 D3,000 G50	A	県	S52年　えん堤工施工 H10～H17年 治山ﾀﾞﾑ工施工 H22年度 地域防災対策総合治山事業
2	上大野木場	水無川上流	1,000		土石流	治山ﾀﾞﾑ工	A320　B2 D1,000 G10	A	県	H11年度 治山ﾀﾞﾑ工実施
3	炭酸水谷	水無川上流	1,000		土石流	治山ﾀﾞﾑ工	A320　B2 D1,000 G10	A	県	H11年度 治山ﾀﾞﾑ工実施 H27年度～地域防災対策総合治山事業実施中
4	南上木場	水無川上流	2,000	有	土石流	治山ﾀﾞﾑ工	A320　B2 D2,000 G30	A	県	
5	安　中	水無川上流	1,000		土石流	治山ﾀﾞﾑ工	A320　B2 D1,000 G10	A	県	H9～H10年度　治山実施
6	眉　山	仁　田	ha 100	有	土石流	治山ﾀﾞﾑ工	A10 D500 F5　G10	A	県	S48～S54年度 床固工施工済
7	南千本木	中尾川上流	200	有	土石流	治山ﾀﾞﾑ工	A800　B2 D1,400 E1,500 F250	A	県	S38年度　床固工施工 H元年度より導流堤施工 平成2年度　水路工施工 平成3年度　水路工施工 平成2～3年度 流路工実施 H4年度　えん堤工実施 H8～12年度 治山ﾀﾞﾑ工実施 H9～11年度 流路工実施
8	北千本木	中尾川上流	800		土石流	治山ﾀﾞﾑ工	A30　D200 F30 G20	B	県	H4年度　えん堤工実施
9	黒円田	西川上流	500	有	土石流	治山ﾀﾞﾑ工	A30 D2,500 F20　G30	A	県	H3年度　えん堤工実施 H4年度 付替流路工実施 H5年度　流路工実施
10	入道山	中河川上流	500		土石流	治山ﾀﾞﾑ工	A309 D4,500 F35　G50	B	県	H5年度　治山ﾀﾞﾑ工実施 H6年度　流路工実施

（長崎県島原振興局　令和3年度島原半島の災害危険区域による）

「予想される被害」欄の区分　Ａ＝民家（戸）Ｂ＝公共建物（棟）Ｃ＝橋梁（箇所）Ｄ＝道路（m）Ｅ＝鉄道（m）Ｆ＝耕地（ha）Ｇ＝山林（m^3）Ｈ＝宅地（m^3）

「危険度」欄の区分　Ａ･･･災害発生の可能性が極めて高い。Ｂ･･･災害発生の可能性が高い。
Ｃ･･･災害発生の可能性がある。

１－１１　林務危険地区（渓岸浸食）

令和３年４月現在

整理番号	名　称	特に危険な区域		過去に発生の有無	予想される事態	対策工法	予想される被害	危険度	管理区分	備考
		区域	延長（m）							
1	陰　平	西川上流	500	S32	渓岸浸食	護岸工 治山ﾀﾞﾑ工	A30 D2,500 F23 G30	C	県	S44年度　床固工　2基 S56年度　護岸工 S60年度から流路工実施 H4年度　えん堤工実施 H5年度　流路工実施
2	永差尾	永差尾	300		渓岸浸食	流路工	A30 D200 F5	B	県	

（長崎県島原振興局　令和3年度島原半島の災害危険区域による）

「予想される被害」欄の区分　Ａ＝民家（戸）Ｂ＝公共建物（棟）Ｃ＝橋梁（箇所）Ｄ＝道路（m）Ｅ＝鉄道（m）Ｆ＝耕地（ha）Ｇ＝山林（m^3）Ｈ＝宅地（m^3）

「危険度」欄の区分　Ａ･･･災害発生の可能性が極めて高い。Ｂ･･･災害発生の可能性が高い。
Ｃ･･･災害発生の可能性がある。

１－１２　山地災害危険地区

(1)　山腹崩壊危険地区

（令和３年４月現在）

危険地区番号		位置			危険地区の危険度	保安林等	面積（ha）
市町村	地区	市町村	大字・字	地区名			
203	1	島原市	原　名	杉　谷	A	土流	4

（H29 年 10 月　九州森林管理局　山地災害危険地区情報　長崎位置図４による）

(2)　崩壊土砂流出危険地区

（令和３年４月現在）

危険地区番号		位置			危険地区の危険度	保安林等	面積（ha）
市町村	地区	市町村	大字・字	地区名			
203	1	島原市	三会町木崎名	三　会	A	水かん	0.9
203	2	島原市	三会町木崎名	焼山（１）	A	水かん	2.88
203	3	島原市	三会町木崎名楓木	焼山（２）	A	水かん	0.72
203	4	島原市	北上木場町奥山	焼山（３）	A	水かん・保健	2.16
203	5	島原市	北上木場町奥山	杉　谷	A	水かん	0.9
203	6	島原市	南上木場ほか眉山ほか	焼山（４）	A	土流・保健	4.68
203	7	島原市	南上木場ほか眉山ほか	眉山７渓	A	土流・保健	1.44
203	8	島原市	南上木場ほか眉山ほか	眉山６渓	A	土流・保健	3.84
203	9	島原市	南上木場ほか眉山ほか	眉山５渓	A	土流・保健	6.0
203	10	島原市	南上木場ほか眉山ほか	眉山４渓	A	土　流	3.96
203	11	島原市	南上木場ほか眉山ほか	眉山３渓	A	土　流	4.20
203	12	島原市	南上木場ほか眉山ほか	眉山０~２渓	A	土　流	5.88
203	13	島原市	北上木場町	安中（１）	A	土　流	0.72
203	14	島原市	北上木場町	安中（２）	A	土流・保健	5.10
203	15	島原市	南上木場町ほか普賢山ほか	安中（３）	A	水かん・土流・保健	12.00
203	16	島原市	有明町ほか大野名ほか	三会（１）	A	水かん・土流・保健	19.20

（H29 年 10 月　九州森林管理局　山地災害危険地区情報　長崎位置図４による）

「保安林等」欄の区分　　水かん：水源かん養保安林　　土流：土砂流出防備保安林

保健：保健保

１－１３　ため池

(1)　通常ため池

令和３年４月現在

番号	地区	所在町自治会	溜池名	かんがい面積(ha)	溜池規模			築堤後の概略経過年数	管理区分
					堤高(m)	堤長(m)	貯水量(㎥)		
1	有明	山之内上	松之沢	6.2	6.7	36.8	8,000	400	県
2	〃	山之内	山之内	3.8	6.4	37.5	7,000	200	市
3	〃	出口	赤野	3.6	7.0	35.3	6,000	200	県
4	〃	川内	川内	5.4	5.0	45.4	15,000	200	〃
5	〃	〃	長沢	2.9	7.8	48.6	18,000	300	〃
6	〃	温泉屋敷	荒牧	13.8	6.6	58.8	24,000	300	〃
7	〃	払山	中杉沢	2.0	3.5	14.0	2,500	300	〃
8	〃	野田	清水	2.6	5.0	35.1	10,000	300	市
9	〃	森岡	森岡第一	2.1	5.5	52.6	8,000	97	県
10	〃	舞人堂	舞人堂	1.8	4.5	26.8	1,500	200	〃

(2)　防災上重要なため池

令和３年４月現在

番号	地区	所在町自治会	溜池名	かんがい面積(ha)	溜池規模			築堤後の概略経過年数	備考
					堤高(m)	堤長(m)	貯水量(㎥)		
1	有明	山之内上	深底	10.3	10.6	71.0	19,000	300	県
2	有明	平山	六人道	8.8	13.6	61.7	31,000	94	〃
3	有明	野田	植松	13.0	16.9	81.7	108,000	98	市
4	三会	寺中町	寺中	19.0	8.7	71.5	22,000	150	〃
5	有明	〃	野田	2.6	10.0	43.8	15,000	81	県
6	〃	津吹町	大鳥	9.7	3.9	31.6	4,000	150	〃
7	〃	平山	堤沢	4.2	9.2	50.6	15,000	300	〃
8	〃	庄司屋敷	三ツ石	2.7	8.5	47.4	12,000	300	〃
9	〃	〃	古屋地	8.6	6.5	45.3	6,000	200	市
10	〃	大原	白田	1.0	3.7	24.6	1,000	200	県

＊　ため池から100m未満の浸水想定区域内に公共施設等があるもの

＊　ため池から100m以上500m未満の浸水想定区域内に家屋、公共施設があり、かつ貯水量１０００㎥以上のもの

＊　ため池から500m以上の浸水想定区域内に家屋公共施設等があり、かつ貯水量５０００㎥以上のもの

＊　上記以外でため池の規模、構造、地形条件、家屋、公共施設等の位置関係、維持管理の状況崩壊地の土質及び地形から、県または市が特に必要と認めるもの。